

警告の規定

● イエローカード

(1) 反スポーツ的行為をしたとき

危険なファール(ラフプレー)を行った場合や意図的なハンド・シミュレーションなど。

- ・危険なタックル・足の裏を見せる・肘を立てる など
- ・アウトプレー時に怒ってボールを蹴る・審判のジャッジを無視してプレーを続ける など

(2) 言葉または行動によって異議を示す

レフリーが降したジャッジに対して異議・文句を唱えることはイエローカードの対象になります。

(3) 繰り返し競技規則に違反する

審判から注意を受けた後、再び同じ違反を犯すとイエローカードの対象になります。

(4) プレーの再開を遅らせる

いわゆる「遅延行為」です。場合によりますが負けているチームの遅延行為はカードの対象にはなりません。

(5) コーナーキック・フリーキックでプレーを再開する時、規定の距離を守らない

主審がFKの前に試合を止め、壁の位置を指示した後で、この指示に従わないとイエローカードの対象になります。主審が壁の指示をする前にFKが蹴られる場合もありますが、その際は適用になりません。

(6) 主審の承認を得ずにフィールドに入る、または復帰する

交代はもちろん、怪我などで一度ピッチから離れた選手がフィールドに復帰する際、かならず主審の承認を得てからフィールドに入ります。勝手にフィールドに入るとイエローカードの警告となります。

(7) 主審の承認を得ずに意図的にフィールドを退出

個人的な理由で勝手にフィールドから離れた場合はイエローカードの対象になります。

相手・身方・審判に怒りを買って、試合を放棄しフィールドを退出した場合はレッドカードとなります。

● レッドカード

(1) 著しく不正なプレーを犯す

意図的な危険なファールを行った場合。

- ・後ろからのタックルやキック・遅れてタックル・相手を掴み投げ飛ばす など

(2) 乱暴な行為をする

相手競技者あるいはその他の者に暴力やつばを吐きかけるなどの行為は退場及び除名、チームの退会となります。

(3) 決定的な得点の機会をファールで阻止をする

(4) 攻撃的な、侮辱的な、あるいは口汚い発言をする

審判や相手チームに対して「バカ」「くらす」「死ぬ」「殺す」など相手を侮辱する発言はレッドカードの対象になります。必要以上の暴言は選手のリーグ除名もしくはチームの退会となります。

(5) 同じ試合で2つ目の警告(イエローカード)を受ける

※上記の警告はフィールドプレイヤー外にも適用されます。

※試合が荒れている場合は、警告を厳しく行い試合をコントロールします。

【助っ人の警告について】

● RENTALの警告

- ・イエローカード... 選手は既存のチームで累積されます。
- ・レッドカード... 既存チームで1試合～出場停止になります。

● GUESTの警告

- ・イエローカード... 使用したチームの助っ人使用枠が1つ減算されます。
- ・レッドカード... 使用したチームの助っ人使用枠が2つ減算されます。悪質な行為での退場の場合は、そのゲスト選手のエイトリーグでの試合出場が認められなくなります。